

後志地域の情報を「効果的」かつ「継続的」に伝える方法

プロジェクト代表者: 木村 泰知

1. プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトでは、学生とともに、小樽や後志の地域情報を「効果的」かつ「継続的」に伝える方法について検討する。「効果」と「継続」は、トレードオフの関係にあり、コンテンツの質を上げて効果を高めると更新や運用のコストが増加し、継続を意識して運用や運用のコストを抑えるとコンテンツの質が低下する傾向にある。そこで、本プロジェクトでは、最新技術動向を調査し、最新の技術を活用することで、このトレードオフの問題を解決する。

2. 具体的な取組内容

本プロジェクトでは、最初に、学生を連れて、東京での調査を行った。その後、後志地域の情報を「効果的」に伝える方法として「ドローンを用いた空撮」によるコンテンツ制作を行っている。また、「継続的」に伝える方法としては、お金を生み出すしくみが必要であり、「ビジネス化の可能性」を明らかにするための実験を行っている。ビジネス化の実験としては、「後志地域の商品」を「ふるさと小包」として送ることによるビジネスが可能であるか、クラウドファンディングを用いて、目標金額を20万円として、ニーズ調査を続けた。

<https://camp-fire.jp/projects/view/12514>



3. プロジェクトの成果及び地域への還元

効果的な方法としては、ドローンを用いた映像制作をによる成果を上げている。具体的には、動画を大学生協前のサイネージ、および、http://www.sea-na.net/?page_id=2750 で公開している。継続的な方法としては、クラウドファンディングによるビジネス展開を試みたが目標金額を達成することができず継続するための費用を集めることが難しいことが明らかになった。